

日本産ゐのこづち數種ノ假雄蕊ニ就テ

奥山春季

H. OKUYAMA: On Staminodes of some Species of Genus *Achyranthes*

日本産トシテ知ラレテ居ル *Achyranthes* 屬ハ現在7種1變種アルガ私ハ其ノ中數種ニ就テ假雄蕊ノ形狀ヲ檢シ原記相文ノ記載ト引合セテ見タ。ソノ事ニ就テ少シ述ベテ見タイト思フ。材料ハ自分ノ採集品以外東京科學博物館所藏腊葉ニ據ツタ。

原記相文中ニ假雄蕊ノ記載アルモノハゐのこづち *A. japonica* NAKAI, やなぎゐのこづち *A. longifolia* MAKINO, おきなゐのこづち *A. molliculla* NAKAI. むらさきゐのこづち *A. rubro-fusca* WIGHT ノ4種ダケデアル。

1. やなぎゐのこづち *A. longifolia* MAKINO in Bot. Mag. Tokyo, XXVIII, p. 180 (1914).

莖葉ノ毛ノ少ナイ、葉面ニ光澤ノアル細長イ葉(披針形乃至廣披針形)ヲ持ツタ顯著ナ種 (species) デアル。林地ノ如キ日蔭地ニ生ズル。小苞基脚ノ齒片

ハ *A. japonica* NAKAI 程デハナイガ稍、顯著デアツテ假雄蕊ハ花糸間ニ明ラカニ突

出シ先端ハ稍擴張シテ居ル。果期ノモノハ全縁ニ近イガ花期ノモノハ稍ニ齒牙状ヲナス (第1

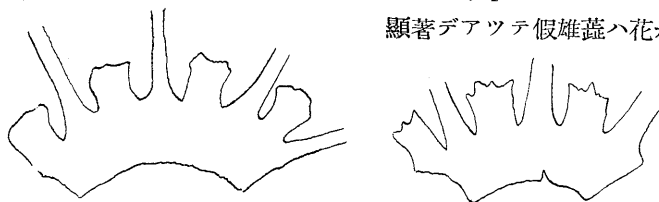


Fig. 1. やなぎゐのこづち *A. longifolia* MAKINO
(左) 武藏袋産 (果期ノモノ) (右) 紀州産 (花期ノモノ) ca×40

圖)。原記相文ニハ “staminodes square, suberose in front” トアル。

本州中部以南・九州・臺灣ニ分布スル。

2. しまゐのこづち *A. obtusifolia* LAMARCK in Encyclopedia Methodique, I, p. 545 (1783).

原記相文ニハ假雄蕊ノ記載ハ無イ。中井博士ノ説ニ從ヒ HOOKER ノ *A. aspera* ヲ本種トスレバ其ノ假雄蕊ハ長キ縁毛ガアルコトニナル。私ノ檢シタモノハ第2圖ノ如キ形狀デアツタ。(Mus. no. 3391.)

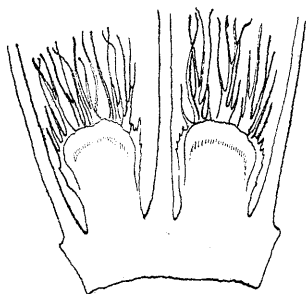


Fig. 2. しまゐのこづち
A. obtusifolia LAM. 果期ノモノ
ca×40

琉球・臺灣・小笠原・交趾支那・セイロン・印度ニ分布スル事ニナツテ居ル。

3. おきなはみのこづち *A. mollicula* NAKAI in Bot. Mag. Tokyo, XXXIV, p. 40 (1920). = *A. aspera* (non LINN.) YAMAMOTO Suppl. Ic. Pl. Form. III, p. 22 (1927); - MAKINO et NEMOTO Fl. Jap. ed. 2, p. 274 (1931).

博物館ニテハ *A. obtusifolia* LAMARCK ト同定サレテ居タモノデアアルガ (Mus. no. 24565) 其ノ果期ノモノヲ檢シテ第3圖1ノ如ク截頭ヲナス事ヲ知ツタ。原記相文 “*Staminodia apice truncata glabra*” ニ一致スル。1907年四月琉球ニテ中原源治氏ガ採集サレタモノデアアル。

1927年山本氏ハ Suppl. Ic. Pl. Formos. III. p. 21ニテ *A. aspera* L. (中井博士ガ1923年 *A. obtusifolia* ノ syn. トナセルモノトハ別ニ) ヲ起用シもんぱいのこづち (一名ながばのしまいのこづち) ノ和名ヲ與ヘラレタ。同氏ノ同定セラレタ標本ハ Ap. 1907 G. NAKAHARA ガ琉球ヨリ採集セラレタモノニ據ツタノデアアルガ臺灣林業部ノ腊葉館目錄ニハ見エナイノデ恐ラクハ帝大ノ標本ニヨルモノデアラウ、帝大ニハ博物館ト同ジキ中原源治氏ノ Ap. 1907年ノ採集ガアル。同氏ノ記相文 (檢索表) ヨリスルモ私ガ此處ニ *A. mollicula* NAKAI ト同定シタ博物館ノ標本ニ一致スル。(帝大ノ中原氏採品ハ正シク *A. mollicula* デアル) 以上ノ2點ヨリモんぱいのこづちヲおきなはみのこづちノ syn. ト考ヘルノデアアル。

尙 *A. aspera* L. ハ Arabia, Africa 等ニ産スルモノデ假雄蕊ニハ長キ縁毛ガアル。

4. むらさきみのこづち *A. rubro-fusca* WIGHT in Icones Plantarum India Orientalis, V, tab. 1778 (1852).

一見内地産ノひなたみのこづちニ近イ形デアアルガ、假雄蕊ヲ檢スレバ其ノ全然異ナル特異ナ種デアアルコトガ分ル(第3圖2)。私ノ檢シタ標本 (Mus. no. 19315) ハ内面ニ附屬物ガアツタガ WIGHT ノ圖ニハソレガナイ、記相文モ “*Staminodes truncated,*

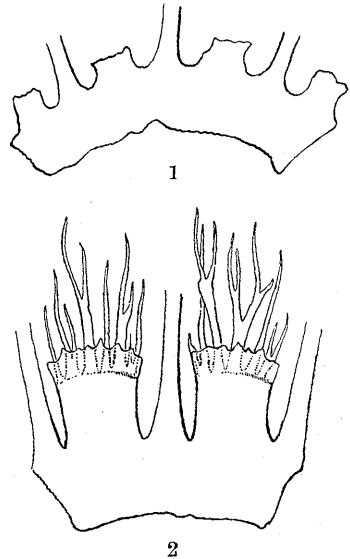


Fig. 3. 1. おきなはみのこづち *A. mollicula* NAKAI
2. むらさきみのこづち *A. rubro-fusca* WIGHT 果期ノモノ
ca × 40

fimbriated on the margin” トアルノミデ此ノ點何等記シテ居ナイ。

5. ひなたみのこづち *A. Fauriei* LEVEILLE et VANIOT in Bull. Soc. Bot. Fr., LI, p. 442 (1904).

本誌 Vol. X, No. 4 ニテ圖示シテアルノデ此處ニハ略スル。尙博物館所藏ノ標本デ *A. bidentata* BL. ト同定シアル支那杭州産 (Mus. No. 7962) 標本ハひなたみのこづちノ莖葉ノ毛ヲモツト多クシタ様ナモノデ非常ニヨク似タ外形デアアルガ其ノ果期ノモノノ假雄蕊ヲ檢シ第4圖1ノ如ク稍缺刻狀細鈍齒縁ヲナシ日本産ノ稍々全縁ニ近イ形ト異ナル事ヲ知ツタ。支那産ノモノハ外形モ假雄

蕊ノ形狀モ WIGHTノ *Icones Pl. Ind. Orient.* 第5卷ノ 1779 圖ノ *A. bidentata* BL. ニ一致スルモノデアアル。

6. むのこづち *A. japonica* NAKAI in Bot. Mag. Tokyo, XXXIV, p. 39 (1920).

同ジク本誌第5卷4號ニ圖示シテアルノデ此處ニハ略スル。

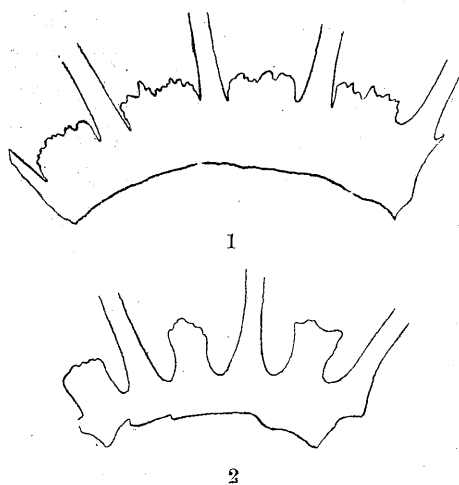


Fig 4. 1. 支那産むのこづち (sp. from China) (果期ノモノ) ca×40

2. 東京石神井産むのこづち (sp. from Shakuji, Tokyo) (果期ノモノ) ca×40

ニ突出スル點ひなたみのこづちニ似テ居ル (第3圖2)。兩種ノ間種トモ見ルベキモノデアアルガ外觀ヨリスルモ兩種トハ直チニ區別出來ル。現在只3株ヲ採集シタダケデアアルガ此ノ他ニモ同様ノモノガ見付カルナラバマタ何トカセネバナラスモノダと思フ。差當リスル中間形ノモノモアル事ヲ報告スルニ止メル。

以上ノ外ニ私ハ昨秋東京市石神井ノ三寶寺池附近デ1種ノむのこづちヲ採集シタ。一見ひなたみのこづち式デアアルガ果實ヲ見ルト小苞基脚ノ齒片ガ顯著デむのこづち式デアアル、假雄蕊ハ花絲間ニ明瞭